

(様式2)

学校関係者評価報告書

(南宇和高校)

学校番号(44)

評価実施日		令和5年2月21日(月)	
委員	氏名	所属等	備考
	尾崎 道広	農業関係者 農家	
	濱見 陽計	学識経験者 元小学校長	
	宮下 武浩	地域中学校長 愛南町立城辺中学校長	
	岩井 正一	地域代表 愛南町教育委員会学校教育課長	
	小澤 豊	保護者等代表 P T A副会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 学校経営 進学に特化した学習支援施設「南光叶夢センター」を校内に開設するなど、町行政とタイアップした取組がなされている。(町内の中学生の4割が町外への流れを止める一助となってほしい) 南光通信、ホームページともに幅広い話題で、頑張っている生徒の様子、楽しい学校生活の様子が分かりやすかった。</p> <p>2 学習指導 家庭学習の意識が低いように思う。生徒に具体的な目標を持たせ、自分自身が頑張ることにより、進路の幅が広がることを自覚させてほしい。 ICT機器の活用については、教科間や教職員間で活用差があることが伺える。ICT活用の苦手な教職員へのサポート体制を構築するなどスキルの習得や効果的な活用方法の研究など学校全体で取り組んでもらいたい。</p> <p>3 生徒指導 個々の生徒に合わせた生徒指導が行われているので、引き続きお願いしたい。 部活動や学校行事において、生徒や保護者が満足感や充実感を味わうことができている。</p> <p>4 進路指導 就職率・進学率ともに高く、個に応じた進路指導が丁寧に行われている。 生徒の進路希望が実現できるように、「南光叶夢センター」とも連携を図りながら取り組んでもらいたい。</p>	<p>総合的な探究の時間を活用した、地域理解や課題解決への取組を充実させ、総合型選抜入試に生かす。 学習支援施設「南光叶夢センター」と連携して、生徒の進路決定に向けた取組を充実させる。</p> <p>家庭学習調査を考査期間以外にも行い、自学自習の意識付けを図る。 ICT機器の活用に向けた研修会の開催や情報の共有を図る。 一人一台端末の利用について、教科の特性に応じた積極的な活用を促進する。</p> <p>校則については、生徒の意見を取り入れた見直しを行い、生徒自ら前向きにルールを守る姿勢を身に付けさせる。 部活動、学校行事を生徒の意見を取り入れた充実した活動にする。</p> <p>基礎学力の向上はもちろんのこと、面接指導や小論文指導などの個別指導もより一層充実させる。 就職先のミスマッチが出ないように、就職ガイダンスや企業見学を充実させる。</p>

<p>5 心の教育</p> <p>総合的な探究の時間等の地域との関わりの中で、優しさや思いやり、感謝の心等が育っている。</p> <p>受験勉強と読書の時間の確保は難しいのではないかと思うが、年間4.7冊平均の読書冊数があったのはある意味驚きである。</p> <p>6 地域連携</p> <p>「未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー」の内閣府特命担当大臣表彰は、これまでの実績が評価された名誉ある受賞だと思う。今後も総合的な探究の時間を中心に、地域資源を活用した取組を継続してもらいたい。</p> <p>小中学校との交流学习の充実を図ってもらいたい。</p> <p>7 業務改善</p> <p>ノー残業デーは職員の意識改革のためにもよいことだと思う。</p> <p>教職員が健康で笑顔になれるのが一番だと思う。</p> <p>来校時には、清掃・環境美化が徹底されていると感じる。</p>	<p>不安や問題を抱える生徒の面談を積極的に行い、情報の共有をする。</p> <p>地域の人権研修会への積極的参加を促し、地域の実態を理解し、連携した活動を推進する。</p> <p>読書の習慣化へ導けるよう、朝の読書の充実を図る。</p> <p>総合的な探究の時間の取組状況等をホームページ等で積極的にアピールし、最終発表会をできるだけ多くの方に見ていただけるようにする。</p> <p>農業体験を通じた小中学校との交流活動を充実させる。</p> <p>仕事の効率化、タイムマネジメント、ワークライフバランスなど、教職員個々の意識改革を促す。</p> <p>清掃は美化委員からの呼び掛けの工夫と担当教員の具体的な指示によって意識向上を図る。</p>
--	--